

2017年度 ⑫ つづきナビ倶楽部 散策ガイド

秋の下飯田を歩こう

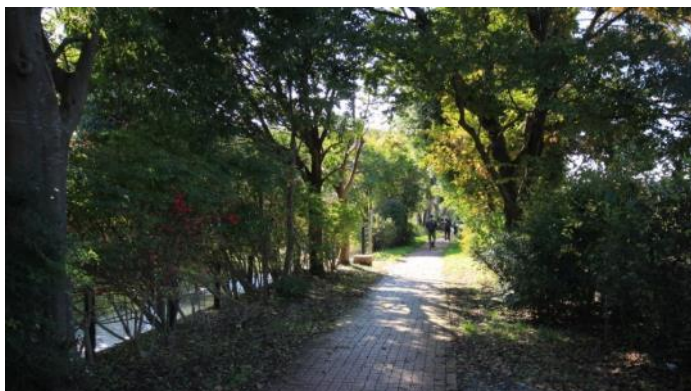
催行日: 2017年10月15日(水) 09:30 : 地下鉄下飯田駅改札口 集合

中川駅 8:24 発 ⇒ 下飯田駅 9:27 着

散策コース: 下飯田駅 ⇒ 和泉川 ⇒ 第六天神社 ⇒ 蜜蔵院 ⇒ 下和泉鯖神社 ⇒ 天王森泉公園
⇒ (境川遊水地公園) ⇒ 東泉寺・琴平神社 ⇒ 富士塚公園 ⇒ 下飯田駅(解散)



まさに畑の真ん中にある下飯田駅。 前は駅の裏手に回り相鉄線をくぐって和泉川上流に向かって歩きましたが、今回は反対側を巡って戻ってくるコースです。少し距離はありますが頑張って歩きましょう。駅前の正面を走る通りの信号を渡って細い道に入り、直進します。畑と住宅が混在する中を東に下っていきます。正面に大きな森とその上を走る鉄塔が見えてきます。300m程下って自動車道を横切ると和泉川にぶつかります。川沿いの遊歩道を右に200m程行ったところ(四谷橋)で川を渡り右に、50m程先で遊歩道と別れ左折します。そして100m程先の信号を渡ります。右側にスズキ自動車販売店があります。少し直進すると左手に「第六天神社」が現れます。30段ほどの階段を上ったところに社があります。社の裏手に出て坂を上り、右手の竹藪を下った所に「酒湧の池」があります。(雨の後は滑りやすいので入らないでください) そして元来た道に戻り、左へ行くと左側に「樽見橋跡」の碑があります。



和泉川の遊歩道



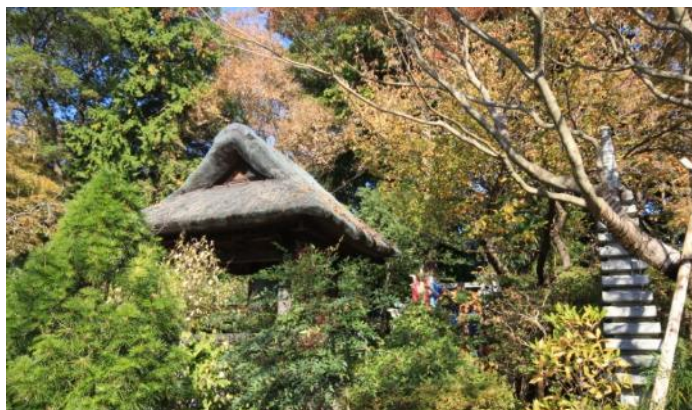
和泉川の流れ

そこから500m程前方に広い道が走っていますが、その手前を左折します。軽い坂を上ると右手に老人ホームがあります。その建物に沿って右折、また直ぐ右に回り込むと「蜜蔵院」の境内に出ます。まず立派な藁ぶきの鐘楼が目飛び込んできます。季節でしょうか、本堂の左右に立派な菊が供えられています。境内を出た所にバス停(宝蔵院前)があります。右に進みます。すぐ先の「鍋屋」の信号を渡り直進、道なりに折れ曲がりながら元来た方向に進みます。右に用水路を見ながら進むと左手に「鯖神社」が現れます。

↓ 蜜蔵院の鐘楼と本殿



第六天神社



その先は現在は住宅地となっていますが、その昔、旧清水製糸工場があったところだそうです。道なりに右に進みます。車道に出て左折します。するとすぐに「天王森泉公園」の入り口があります。しばし休憩を取りましょう。この建物は明治44年に清水製糸場の本館として建てられ現在横浜市認定歴史的建造物として公開しています。



下和泉鯖神社



天王森泉公園の館





天王森泉館と部屋から見える風景



さて、コースとしてはここから U ターンし鍋屋橋の所で合流しますが、下見ではこの館の畑の向こう側に見える境川遊水地公園と情報館に行ってきました。

館を出て左へ、少し先の自動車が走っているところまで行き右に入ります。遊水地運動公園があり子供たちが元気に野球に興じていました。この場所は境川と和泉川との合流地点でその中州の広場が公園となっています。その先の情報館に入ります。すぐに出て左の和泉川に沿って進み、その先のゲートを出て道路を横切り遊歩道に入ります。鍋屋橋のところで川と別れ細い鎌倉道に入ります。



境川と和泉川の合流地点



境川遊水地公園のグラウンド



👉 遊水地公園のピオトープ



東泉寺と薬師堂



琴平神社

しばらく進むと「東泉寺」の看板が目に入ってきます。案内板に「子は宝 親の背中が道しるべ」と書いてありました…反省しきりです。ここでは和尚さんが薬師堂を開けてくれて詳しく説明を聞くことが出来ました。そのすぐ隣に「琴平神社」があります。そして元の道に戻り、しばらく行くと途中右手に美味しそうな蕎麦屋さんがあります。途中下車もアリですね？ その先に相鉄線の高架の線路が見えてきます。まさに畑の中を走る電車です。すぐ右手に「富士塚公園」があります。その右手の坂を上った先に、あの可愛らしい下飯田の駅舎が見えてきます。ここで解散といたします。

お疲れさまでした。 下見では家からですが13,500歩となっていました。



富士塚公園から相鉄いずみ野線 下飯田駅付近のススキ

「泉区散策ガイド～和泉川南部から下飯田方面」

